

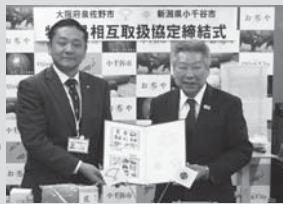
特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。 問合せ 農林水産課



③⑦ 新潟県小千谷市

▶平成29年10月19日、大塚昇一 小千谷市長(右)と協定を締結



小千谷市の特産品



錦鯉



コシヒカリ



へぎそば



日本酒



米 菓



味噌・しょうゆ



笹だんご・餅



小千谷ちぢみ



小千谷やさい

- 面積：155.19km²
- 人口：35,846人・12,780世帯（平成30年10月31日現在）
- 市の花：すいせん ●市の魚：錦鯉

小千谷市は、新潟県中越地方西部に位置し、日本一の大河信濃川が市の南東部から北東部へと流れ、三国街道や善光寺街道、高田街道がとおり宿場町として栄えたまちです。小千谷町を中心とする町村合併により、昭和29年3月に、新潟県下8番目の市として誕生しました。山あいの豪雪地帯という環境の中、その土地をうまく活用して作られた棚田や棚池は、日本農業遺産に認定されています。

特産品としては、魚沼産コシヒカリや織物の糊付けに使う海藻（ふのり）をつなぎにした独特のコシのある「へぎそば」があり、地場産業の特産品には、平成21年9月30日にユネスコの無形文化遺産に登録された小千谷縮や「泳ぐ宝石」と呼ばれる小千谷の錦鯉が知られています。錦鯉は、中越大震災からの復興の象徴ともなっています。

また、東山地区の国指定重要無形民俗文化財「牛の角突き」で知られ、「おぢやまつり」の花火大会は県内有数の規模を誇っています。

小千谷市は、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震の経験と教訓をいつまでも忘れることなく次世代に継承し、「ひと・技・自然 暮らして実感 地域の宝が輝くまち おぢや」を目指し、まちづくりが進められています。



- 面積：524.2km²
- 人口：172,208人・71,893世帯（平成30年12月1日現在）
- 市の花：さくら ●市の木：りんご

弘前市は、青森県南西部に位置し、明治22年4月1日に全国30市とともに市制施行地に指定された都市の一つであり、平成18年2月27日に弘前市、岩木町、相馬村の3市町村が合併し、新しいまち「弘前」が誕生しました。

また、江戸期には津軽氏を藩主とする弘前藩の城下町として、戦前は陸軍第八師団の軍都として、戦後は弘前城やさくらに代表される歴史的な文化財と四季折々のまつりが行われるほか、弘前大学などを擁する、東北屈指の文化学園都市として成長を遂げています。

特産品としては、りんごの収穫量が全国（約73.5万t）の約20%を占める、りんごのまちとして知られています。りんごジュースやシードル、アップルパイなどの6次産業化した商品も作られ、全国一のりんご生産圏となっています。

また、泉佐野市と弘前市とは平成28年度より就労支援カレッジ事業により若者の農業による就労支援の交流を進めています。

弘前市は、「市民生活を第一に」、「くらし」「いのち」「ひと」の3本の柱で、市民目線、市民感覚を大切にしながら、これからの弘前、新しい弘前のまちづくりを進めています。



③⑧ 青森県弘前市

平成29年10月30日、協定を締結。平成29年12月2日の泉佐野市農業祭にも出展していただきました。



弘前市の特産品



ブナコ



地酒



津軽こぎん刺し



津軽塗



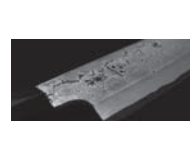
りんご



アップルパイ



りんごジュース



津軽打刃物



シードル